



＜教育目標＞

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども

令和6年1月31日(水)

練馬区立豊玉第二小学校

校長 坪倉 一雄

豊二小だより

2月号

教員がさらに子どもたちと向き合うために

副校長 早淵 白輝

様々な事情で、教職員の在校時間が長くなっている現状は皆さんも御存じのとおりです。東京都教育委員会や練馬区教育委員会から別途配布するお知らせにあるとおり、これまでも教員の業務改善に向け、スクール・サポート・スタッフや副校長補佐、学校生活支援員等の人材配置を進めてきました。また教員用のタブレット端末の配備等のデジタル化を推進して、業務軽減の環境整備も図っています。にもかかわらず、勤務時間以外の在校時間が月45時間、年間360時間を超える教員は本校でも約半数おり、月80時間を超える教員も複数いる状況です。その他、産育休代替教員や万一教職員の誰かが病気休暇・休業に入った際の代替教員、役割分担の中での授業時数軽減を補う講師等の人材も常に不足気味で、全体としての喫緊の課題になっています。

教員の子どもたちと向き合ったり、授業を準備したりする時間確保について現在の困難を打破していくために、令和6年度から練馬区全体で以下3点の取組を推進します。

- ①代表電話の受付時刻を、朝は午前8時頃から夕方は午後4時45分までに設定を変更します。2月13日(月)から試行期間とし、前倒して実施します。
- ②これまで年8回第二土曜日に実施していた振替休業日なしの土曜授業を、年4回に半減します。実施する月は各学校の設定となり、正式には次年度教育課程の受理後の決定となりますが、本校では6月、9月、11月と、令和7年2月の第二土曜日を想定しています。運動会は6月1日(土)を想定しています。
- ③通知表の所見の記載を年度末の1回とします。1学期と2学期の様子については、個人面談や保護者会等で直接学習・生活の様子をお伝えします。各教科の評価については、引き続き毎学期の通知表の中で伝えます。

これまでも学校行事の精選について推進してきておりますが、行事のねらいと子どもたちの実態を踏まえて、時間の短縮や規模の縮小等の工夫をして実施していく方向です。

以上の施策を推進していくことで、教員がさらに子どもたちと向き合い、働き方改革の推進につながります。学校で過ごす子どもたちと教職員皆の笑顔のために御理解と御協力をお願いいたします。



学校の今後の情報発信の改革に向けた目下のお知らせ

練馬区全体で、保護者向け情報伝達サービス「sigfy」というアプリを導入することとなりました。主な機能として、セキュリティを確保した学校からの様々なお便りの添付配信や、これまで学校連絡メールが担ってきた緊急対応のお知らせ等の連絡、保護者からの欠席等連絡があります。登録方法等の詳細については、後日お便りで配布します。これまでの学校連絡メールはしばらく並行し、主には区全体からの休校等のお知らせ機能として残る予定です。利用登録への御協力をお願いいたします。